

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



総合生命理学部オープンキャンパスでの研究室・実験室見学の様子

特集

名市大の魅力を体感!

オープンキャンパスの今

PICK UP! 1期生になろう! 総合生命理学部で初開催!

(2018年4月開設)

01 特集

02 TOPICS

04 名市大発見! / 国際交流

05 学生の活躍

06 受賞関連 / 寄附顕彰 / 就任ごあいさつ / 教員著書・発行物紹介

07 イベントカレンダー

DONATION

あなたの力が支えます。

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ: 事務局総務課

tel.052-853-8005

名市大の魅力を感じ！オープンキャンパスの今

共に学ぼう！みんなでおもてなし★オープンキャンパス2017夏

インターネットや書類だけではわからないことが多い、大学の雰囲気や魅力を体感し、志望校を選ぶ材料として注目されるオープンキャンパス（以下OC）。名古屋市立大学では、この夏、7学部それぞれ趣向を凝らしたOCが、7～8月にかけて行われました。参加する高校生や保護者らには、在学生や教職員が献身的にサポート！おもてなしの心、そして魅力あふれる名市大を多くの方が体感しました。

日程	7/15 SAT	8/4 FRI	8/8 TUE	7/22 SAT	8/5 SAT	8/19 SAT
	■ 人文社会学部	■ 医学部	■ 看護学部	■ 経済学部	■ 薬学部	■ 芸術工学部
				■ 総合生命理学部		

※広報誌制作の都合上、7月開催の3学部のOCを取材しました。



事前予約もすぐに定員超えが出るほど大人気の名市大のOC。今年は事前の申し込みだけで、7学部計4,500人を超えました。

個別相談会

雰囲気がすごくよくて、学生同士や先生との距離がすごく近いんだよ！



教員による相談の他にも、実際に充実したキャンパスライフを体感中の在学生も親身になって相談に対応しています。

模擬授業・ゼミ体験



実際に授業やゼミを体感できることもOCの魅力のひとつ。

政治のことを勉強しています。模擬投票をやってみよう！（活動はP5参照）

キャンパスツアー

あの校舎が1号館で主に人文社会学部で使用します。反対側には、なんと古墳があるんです！



学生たちの視点で、一緒に過ごすかもしれないキャンパスの魅力を感じていただきました。

PICK UP! 1期生になろう！総合生命理学部オープンキャンパス

(2018年4月開設)

2017年7月22日（土）、暦の上ではもうすぐ大暑の中、滝子（山の畑）キャンパスでは、初開催の総合生命理学部のOCにおよそ500人の参加者が詰めかけ、熱心に耳を傾けていました。参加した高校生からは、「生物学や情報科学に興味があり、個別に相談できて良かった」「ホームページだけではわからないことも理解でき、より親しみが持てた」といった声が聞かれ、保護者からは「就職が心配だったが、社会での必要性などをわかりやすく説明していただき、また全学をあげてキャリア支援に力を入れていることもわかり、安心しました」といった話がありました。

個別相談会



ほぼ全員の教員が、テーマごとにわかれ相談会を行いました。また大学院生による相談コーナーも開設され、大学の雰囲気や学生生活などを紹介しました。

研究室・実験室見学



教員が5号館（実験棟）を案内し、設備や研究の一端を体感していただきました。

模擬講義



2018年4月以降、実際に行われる予定の講義の一部を体感していただきました。

▶ 2017 秋のオープンキャンパス 日程

10/21 SAT・22 SUN ■ 薬学部 10/28 SAT ■ 芸術工学部 11/4 SAT ■ 医学部 11/11 SAT ■ 経済学部 ■ 人文社会学部 ■ 総合生命理学部

9月1日午後4時から受付を開始します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。※どの学部も大学祭と一緒に開催されます（P7参照）。

DATE 6.17

総合生命理学部

総合生命理学部 説明会・設置認可申請記念シンポジウムを開催！

2017年6月17日(土)、2018年4月開設の総合生命理学部の詳細を、高校生や保護者、進路指導教員へ直接伝える機会として、学部説明会を実施しました。約100人にご来場いただき、新学部の設置の経緯、魅力、理学の楽しさ、養成する人材像などについて説明しました。引き続き実施した教員との座談会では、入試の内容や学べる研究分野、卒業後の進路について多くの質問をいただき、予定時間を大幅に超えるほ

どの熱気に包まれました。参加した高校生からは、「総合的に科学を学べる特徴がよく理解できた」といった感想をいただきました。また、同時に開催されたシンポジウムでは、国立環境研究所の五箇公一氏、環境省中部地方環境事務所の高木文子氏をお招きし、本学システム自然科学研究科の村瀬香准教授とともに、特定外来生物や生態系維持の活動についてご講演いただきました。



説明会の様子

■総合生命理学部関連イベントは、裏表紙のイベントカレンダーをご覧ください。

▶総合生命理学部で学ぶこと

生命科学を中心に、化学・物理学を含む物質科学と数学・情報科学を学びます。

▶卒業後に生かせる能力

- ・理学の専門教育を通じて、観察眼・論理性・問題解決力といった社会人基礎力を養うことができるため、どのような進路へ進んだとしても活躍することができます。
- ・現代社会で必須の情報処理技術を体系的に修得し、様々な課題に対して活用できるようになります。

■総合生命理学部に関する情報は本学ウェブサイトから以下のページで公開しています。

<http://www.nagoya-cu.ac.jp/academics/undergrad-sci/>



座談会の様子

DATE 5.21

「フェアトレードがつなぐ地域と大学」を開催！

2017年5月21日(日)、「フェアトレード(※)がつなぐ地域と大学 ～フェアトレードタウンなどや若者サミット～」を名古屋市博物館にて開催し、学生や地域の方々など150人にご参加いただきました。

当日の司会・運営は、名古屋市博物館サポーターMAROが行い、本イベントを盛り上げました。4団体の学生がプレゼンした活動事例発表では、本学のフェアトレード推進サークル「でら☆FT」が学内におけるフェアトレード商品の購買

奨励の活動を紹介。発表した人文社会学部3年の石川奈央さんは「特別なことをしていない学生でも、消費者として考えて行動すれば、社会に影響を与えられると思う。私たちがそのきっかけをつくりたい」と活動への思いを語りました。地元の瑞穂通商店街振興組合理事長らと共にパネルディスカッションも行われ、伊藤恭彦副学長は「フェアトレードの推進には、若者の力が必要。今後も大学生や高校生が地域とつながり、活動の輪を広げていってほしい」と締めくくりました。

※フェアトレード

…発展途上で生産された製品を適正な価格で取引することで、生産者の生活を向上させることを目的とする仕組みのこと。



人文社会学部3年 石川奈央さん



パネルディスカッションの様子

DATE 8.6

「はくぶつかんのなつまつり2017」にてフェアトレード商品を提供

2017年8月6日(日)、名古屋市博物館駐車場において、本学のフェアトレード推進サークル「でら☆FT」が、同イベント「博物館茶屋」にてブース出店を行い、フェアトレード商品を使用したアイスコーヒーなどを販売しました。当日は多くの方にご来店いただき、フェアトレードの普及啓発を通して、地域と大学のつながりを深めました。



フェアトレード推進活動の様子

当日は、本学サークル「名古屋市博物館サポーターMARO(マロ)」による企画「ナイトミュージアム」も行われました。



DATE 6.1

医学部附属病院

中部地域初! MRI撮影および超音波検査融合画像に基づく 前立腺針生検法の 先進医療実施医療機関として承認

2017年6月1日付で、中部地域としては初めて東海北陸厚生局から承認されました。当技術は、前立腺がんが疑われる患者さんに対して行われる生検法(※)で、MRI検査画像と超音波検査画像を最新機器「BioJet(バイオジェット)システム」を用いて同期させて実施します。超音波検査画像のみで行う従来の生検法に比べ、より微小な病変も発見できるため、これまで以上に正確に前立腺がんを診断できるようになり、より多くの患者さんの命を救うことが期待されます。



※生検法
…病変の一部を採って顕微鏡で詳しく調べる検査で、がんであるか否かの判断などができる。

医学部附属病院

はくはん なんちせいひふかいよう 白斑や難治性皮膚潰瘍などに対する 培養表皮移植(再生医療)を開始!

再生医療のひとつである培養表皮移植(※)は、現在、重症熱傷などに対して保険が適応されていますが、尋常性白斑や難治性皮膚潰瘍、改善が困難な瘢痕(はんこん)に対しても有効であると考え、7月より臨床研究として実施しています。この取り組みは大学病院としては日本初であり、約20件の治療を実施した後、新規の先進医療として厚生労働省に対し申請する予定で、形成外科と皮膚科が共同して研究を実施します。



培養表皮シート

※培養表皮移植
…患者さん自身の体の一部(わきの下や患部周辺など)から皮膚を採取し、それを培養して作成したシート状の皮膚(写真)を患部に移植する治療法。

DATE 6.17

大学院 看護学研究科

おれんじ会 ~知ろう・つなごう・オレンジの“わ”~ を開催!

2017年6月17日(土)、高校生・大学生など将来子どもを持つ可能性のある方たちを対象に、児童虐待への理解を深め、防止するためにできることを話し合うピア・サポートを開催しました。年々相談対応件数の増加している児童虐待を防止するため、助産学は何かができるのか、おれんじ会は啓発活動に参加し、毎年イベントを開催しています。今回は名古屋子ども青少年局の橋本好司氏をお招きし、児童虐待の定義や、名古屋市の最新データを交えた

現状と対策についてご講演いただきました。話し合いに参加した大学生・大学院生らは、虐待にあたるのか事象の捉え方の個人差に頭を悩ませながらも、児童虐待に対するそれぞれの意見を活発に出し合いました。

おれんじ会とは?

名古屋市共催により大学院看護学研究科・助産学分野の学生が取り組んでいる児童虐待防止に向けた啓発活動をする団体。子どもたちの笑顔のためにできることを一緒に考える機会を提供しています。



おれんじ会のメンバーを中心として同世代同士が話し合いました

DATE 7.22

看護学部

看護実践研究センター 地域連携セミナーを開催

2017年7月22日(土)、摂食・嚥下(えんげ)障害看護認定看護師である医学部附属病院看護部の吉田佳代主任による地域連携セミナー「いつまでもおいしく食べるために一食食べること、飲み込むことについて知ろう」を開催しました。「食べること(摂食)」「飲み込むこと(嚥下)」のしくみやその支援などを具体的に紹介し、とろみ剤を使用した演習、嚥下体操などの体験を通して、摂食・嚥下に関する知識を学びました。



DATE 5.11 -

滝子(山の畑)キャンパスにキッチンカー出店!

2017年5月から毎月第2・4木曜日(授業期間中のみ)、学生の福利厚生の一環として滝子(山の畑)キャンパスにおいてキッチンカーの出店が始まりました。パンやスイーツを販売しており、昼休みには行列ができるほどの賑わいです。購入した学生からは「甘い物は勉強や部活を頑張った自分へのご褒美。これからもキッチンカーを続けてほしい」といった声が寄せられています。



国際交流

海外の3大学と国際交流協定を締結!

2017年5月26日(金)に、東部インドネシア最大の国立大学であるハサヌディン大学と大学間交流協定を締結しました。また6月20日(火)には、研究の質や学生数などで世界・全米においてトップクラスであるミシガン州立大学と同じく協定を締結し、さらに7月1日(土)には、経済・経営の分野においてベトナムのトップクラスの大学である貿易大学と締結しました。今回の締結により、海外の大学間交流協定校は36校となり、交流を通じた教育・研究の更なる発展が期待されます。



共同研究を行っているミシガン州立大学農業経済学科

薬学部

香港大学、サント・トーマス大学学生のインターンシップ!

薬学部では国際交流協定大学である香港大学医学部薬理薬剤学系から、3年生の廖文添さんと黄思鳴さん、同じくフィリピンのサント・トーマス大学薬学部から3年生のHajime NakaegawaさんとSheena Josoさんを、それぞれ約6週間、インターンシップ生として受け入れました。医学部附属病院薬剤部の見学では実務実習生(薬学部5年生)と日本の医療の現状や薬剤師の職能などについて討論したほか、約1週間ずつ各研究室を巡るラボツアーや、日本の文化として茶道体験などを行いました。

■ 本学の国際交流協定締結校は本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/international/center/partner/>



薬剤部でのインターンシップの様子
 (左から、サント・トーマス大学学生2人、香港大学学生2人、薬学部教員)

DATE 6.24

蝶ヶ岳ボランティア診療班

創設20周年記念講演会・壮行会を開催!

2017年6月24日(土)、創設から20年目を迎える「名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班」が創設20周年記念講演会及び壮行会を開催しました。

講演会では初代診療班代表の太田伸生氏(元医学研究科教授)、蝶ヶ岳ヒュッテオーナーの神谷圭子氏をお招きし、創設当時から現在までの活動を振り返りました。また、診療班は夏山での安全な診療活動を一丸となって行えるよう、毎年壮行会を開催しており、今年は約100人の学生部員と約60人の本学医療関係者・卒業生らが懇親を深めました。



名市大発見!

知れば知るほど好きになる!

名古屋市立大学の知られざる豆知識を紹介します。

第4回 「山の上の名市大」



1998年8月1日 診療所の開所

長野県を始め、4県にまたがる中部山岳国立公園内にある標高2,677メートルの蝶ヶ岳。蝶を連想させる雪肌の形から名付けられたといわれるその頂には、年間6,000人近い方が登ります。

山頂付近の蝶ヶ岳ヒュッテの一角にある蝶ヶ岳ボランティア診療所は、いくつかの偶然が重なって誕生した「山の上の名市大」。夏の登山シーズンには、本学の医療関係に携わる教員や学生らが交代で診療所に常在し、山上から登山者の健康や安全を支援しています。特徴的なことは、学生が中心となって行う雲上セミナー。陽が落ちた診療所では、安全登山の啓発や登山者との交流が図られています。

大自然の中でのこのような活動が評価され、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会から感謝状が贈られるなど、社会的にも欠かせない存在として、20年目の今年も診療所が開設されています。大学の使命でもある「教育・研究・社会貢献」を文字通り体現するこの取り組みが、これからもも意義に続くことが期待されます。

■ 蝶ヶ岳ボランティア診療所ウェブサイト

<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm>

学生の活躍



平成28年度 成績優秀者表彰式を行いました!

2017年5月12日(金)、平成28年度に優秀な成績を修めた41人の学生を表彰する、成績優秀者表彰式を行いました。各学部長、指導教員、そして保護者が見守る中、学長から表彰状が手渡されました。代表挨拶では医学部5年の磯貝有優さんが「先生方のご指導や家族の励ましの賜物と心から感謝しております」と謝辞を述べました。今後も学業、そしてさまざまな取り組みに励まれることを期待しています。

■医学部 磯貝 有優 竹内 舜 林 裕恵 左 安棋	■薬学部 泉 和弥 北村 紗枝 坂部 彩 白川 菜由 中津川 瑛美 羽鳥 聖七 福嶋 文徳	■経済学部 王 珮濡 桶谷 弥生 佐藤 美穂 柴山 宗馬 鈴木 帆南 土屋 瀬里加 鳥海 由衣 水谷 佳幸 山口 由衣	■人文社会学部 伊奈 葵 木村 理沙 早苗 春奈 柴田 結衣 橋 尚諒 長谷川 晶紀 牧野 晃平 向出 洋祐 横川 花香	■芸術工学部 池本 祥子 奥野 雄貴 小津 壮太 小山 裕之 富石 鈴華 平野 萌 古川 美海 古田 皓大 室田 ゆう	■看護学部 中島 実花 吉江 裕子 吉川 知伽
--	---	---	--	---	---

※敬称略。学部ごと、五十音順に掲載。



地域の方々と学生と一緒に食事を楽しみました

「山の畑(はたけ)プロジェクト」 タマネギを収穫!

2017年5月25日(木)、「山の畑(はたけ)プロジェクト」において、冬から育てていたタマネギを、学生が地域の子どもたちとともに収穫しました。6月15日(木)に行われた一人暮らしの高齢者を対象とした「御剣学区高齢者給食会」では、このタマネギを学生と地域住民と一緒に調理し、高齢者の方々とともに味わい、交流を深めました。

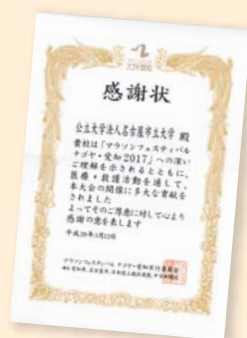
「山の畑(はたけ)プロジェクト」とは?

2016年度から山の畑(滝子)キャンパス内に畑を作り、学生と御剣学区住民の協働によってサツマイモやタマネギを育てるプロジェクト。

医学部

「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017」に ボランティアとして参加!

2017年3月12日(日)、マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2017が開催され、MeLSCサークル(救命救急に関する活動を行う公式サークル)・蝶ヶ岳ボランティア診療班(P4参照)・ドクターエイド(救命救急の現場で働く学生アシスタント)から計10人の医学部生が、医学生ボランティアとして参加しました。ゴール地点や休憩場所で具合の悪い人がいないかどうかの見回りや、傷病者に対する処置の補助につくなど積極的に活動しました。その活動が認められ、当イベントの実行委員会より感謝状をいただき、参加した学生にとって実践と自信に繋がる貴重な機会になりました。



人文社会学部

高校で本学生が 選挙出前トーク!

2017年6月30日(金)、名古屋女子大学高等学校にて、人文社会学部の学生が選挙出前トークを行いました。この取り組みは、瑞穂区役所と本学との連携協力協定に基づくもので、若者に政治への関心や選挙の重要性を認識してもらおうと開催されたものです。当日は200人近い高校生を前に、本学生が候補者役に扮して模擬演説を行ったり、本学生が制作した解説映像を放映し、模擬投票を行うなど、投票への理解を深めました。参加した高校生からは、「一票の重みを知り、選挙に参加しなければならないと思いました」との声が聞かれました。



大学院 システム自然科学研究科

第21回 日本体力医学会東海地方会 学術集会奨励賞を受賞

システム自然科学研究科博士前期課程2年の山田麻末さんが受賞しました。「運動が骨格筋の恒常性を調節する新規分子経路」という演題で、筋収縮により変動するタンパクの役割を検討しました。着目したタンパクを筋特異的に欠損したマウスを作成し、培養細胞の結果と統合的に解析したことが高く評価されました。



PRIZE 受賞

※受賞期間：2017年4月1日～7月31日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科



日本泌尿器科学会
第105回 日本泌尿器科学会総会
総会賞

腎・泌尿器科学分野
臨床研究医
海野 怜



日本病理学会
平成28年度 日本病理学会
学術奨励賞

実験病態病理学分野
講師
内木 綾

■医学部附属病院



日本看護協会
会長賞

看護部副看護部長
小黒 智恵子



第66回 東海ストーマ・
排泄リハビリテーション研究会
最優秀賞

看護部
吉田 恵美

■医学部附属病院

日本看護協会 看護の日
第7回「忘れられない
看護エピソード」入選



看護部
浅野 春香

日本看護協会が「看護の日・看護週間」事業の一環として、看護職・一般の方々から看護にまつわる心温まるエピソードを毎年募集しています。過去最多応募数3,578作品の中から選ばれました。「忘れられない看護エピソード」は日本看護協会のウェブサイトから以下のページでご覧いただけます。

<https://www.nurse.or.jp/home/event/simin/episode/>

寄附顕彰

大学振興基金・名古屋市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

- 10万円以上 小鹿 幸生 様、松山 比呂美 様、森田 潤 様
- 5万円以上 岩瀬 弘敬 様、河合 米子 様、岩名 邦夫 様、小嶋 登代子 様、高田 節子 様、山田 浩勝 様
- 1万円以上 綾田 正徳 様、黒宮 孝二 様、中根 邦雄 様、仁田 正和 様、橋本 公 様、松村 正 様、宮木 健一 様、吉川 龍雄 様
- 5千円以上 青木 耕治 様、青木 茂 様、島野 泰暢 様、夏目 茂治 様、貴子 様、山中 光太郎 様
- 非公表 天池 雅彦 様、荒木 一郎 様、伊藤 康生 様、打田 昌夫 様、江口 保 様、王 紅杰 様、大橋 道三 様、河合 雅恵 様、熊谷 真好 様、小泉 智哉 様、齋藤 久美子 様、重森 一夫 様、高木 譲治 様、田中 くに 様、徳村 和明 様、中村 太一 様、早川 喜代 様、林 俊文 様、日比野 充伸 様、古田 榮 様、古田 節子 様、堀田 花音 様、政本 進午 様、松井 宣夫 様、松永 博 様、間宮 敦 様、水野 金一郎 様、脇田 充史 様

■団体

- 5万円以上 同窓会さわらび 様
- 非公表 医療法人ふれあい会 理事長 政本 進午 様

名古屋市大生みらい応援基金

■個人

- 5万円以上 石原 治 様、山田 浩勝 様
- 1万円以上 綾田 正徳 様、岩佐 充二 様、中根 邦雄 様、吉川 龍雄 様
- 5千円以上 青木 耕治 様、青木 茂 様、島野 泰暢 様
- 非公表 飯田 昭彦 様、打田 昌夫 様、國友 勝 様、日比野 充伸 様、古田 節子 様、政本 進午 様、松井 宣夫 様、間宮 敦 様、水野 金一郎 様、山口 みほ子 様、山田 一利 様

■団体

- 非公表 医療法人ふれあい会 理事長 政本 進午 様

※五十音順。2017年4月1日から6月30日までに寄附いただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。
※古本募金により寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

■医学研究科・大森豊緑特任教授が学長特別補佐に就任



2017年8月1日(火)、大森豊緑特任教授が厚生労働省から招へいされ、本学では3人目の学長特別補佐に就任しました。

■ごあいさつ

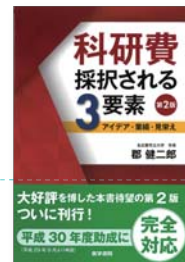
大学を取り巻く社会情勢が激変するなかで、本学がその強みを活かしながら、時代の要請に的確に応え、世界をリードする大学として着実に発展すべく、教育、研究、診療及び社会貢献活動の充実・強化と経営基盤の安定に尽力いたします。



2016年7月発行の著書を2018年度助成に対応して刊行!

「科研費 採択される3要素 第2版 ~アイデア・業績・見栄え~」

著者：理事長・学長
郡 健二郎
2017年7月 出版：医学書院



「タックス・ジャスティス ~税の政治哲学~」

著者：人間文化研究科 教授
伊藤 恭彦
2017年5月 出版：風行社



「ここからスタート! 睡眠医療を知る ~睡眠認定医の考え方~」

著者：医学部附属病院 睡眠医療センター長
中山 明峰
2017年6月 出版：全日本病院出版会



イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
9.30 SAT - 12.16 SAT	市民公開講座(9回)	各キャンパス 費用:各回一律500円 ※詳しくは本学ウェブサイト「市民公開講座」のページをご覧ください。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/cat02.html	
9.13 WED 9.20 WED 10.18 WED	大学発! ハッピー子育て講座(3回)	10:30~12:00 桜山(川澄)キャンパス 医学部附属病院4階第1会議室 費用:各回一律500円 定員:各回先着70人 ※詳しくは本学ウェブサイト「大学発!ハッピー子育て講座」のページをご覧ください。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/cat01.html	
10.29 SUN	滝子商店街連携事業 滝子マルシェ	10:00~16:00 滝子交差点北側など	申込不要
11.23 THU	第22回 経済研究所公開シンポジウム 「伝える」を考える	13:30~16:30 桜山(川澄)キャンパス 医学部附属病院 病棟・中央診療棟3階大ホール 費用:無料 ※詳しくはウェブサイトをご覧ください。 http://www.econ.nagoya-cu.ac.jp/~kenkyujo/event/sympo2017.html	インターネット(名古屋市電子申請サービス)または 往復はがきで、9/25(月)から11/20(月)まで お申し込みください。(当日受付可) 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 名古屋市立大学山の畑事務室「公開シンポジウム」係

総合生命理学部関連イベント

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
10.15 SUN	総合生命理学部新設記念 シンポジウム「未来を拓くサイエンス」 生命科学・物質科学・数理情報科学の分野から 最先端の研究成果とともに、2018年4月設置の 総合生命理学部の魅力を紹介しします。	13:30~16:30 桜山(川澄)キャンパス 医学部附属病院 病棟・中央診療棟3階大ホール 費用:無料	件名に「10/15シンポジウム申込」、本文に代表者氏名・ 電話番号、参加人数(高校生の場合は学年も記入) をご記入の上、メールでお申し込みください。 メール:rigaku@nsc.nagoya-cu.ac.jp
10.28 SAT・29 SUN	高校化学グランドコンテスト 高校生および工業高等専門学校生が行っている 学習研究活動を支援し、将来、科学分野で活躍 できる人材の育成を目的とした教育支援プロ グラムの最終選考会(口頭およびポスター発表)。	28日/13:00~17:00 29日/8:45~16:45 田辺通キャンパス 宮田専治記念ホール 費用:無料	メール又は往復はがきに、代表者氏名(ふりがな)・ 住所・電話番号、参加人数、参加希望日をご記入の上、 お申し込みください。(当日受付可) メール:staff@gracon.jp 〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1 名古屋市立大学 山の畑事務室内 高校化学グランドコンテスト事務局

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
9.15 FRI	第124回 「健康づくり」とは、「生きる」とは」 講師:システム自然科学研究科 教授 高石 鉄雄	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:各回先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)を ご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の1か月前から、次回開催分の受付を 開始いたします。
10.20 FRI	第125回 「放射線被曝による健康リスクを考える ～福島原発事故から6年～」 講師:原子力市民委員会委員(愛知県環境調査センター 主任研究員) 大沼 淳一 氏		
11.17 FRI	第126回 「加法と乗法が織りなす数の世界」 講師:システム自然科学研究科 教授 河田 成人		

NCU FES. 大学祭 2017開催

<http://ncufes.nagoya>

2017/10/21 SAT → 11/12 SUN

薬学祭

田辺通キャンパス
10/21 SAT・22 SUN

芸工祭

北千種キャンパス
10/28 SAT・29 SUN

川澄祭

桜山(川澄)キャンパス
11/4 SAT・5 SUN

市大祭

滝子(山の畑)キャンパス
11/11 SAT・12 SUN

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の
皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。